

寺報

No.604

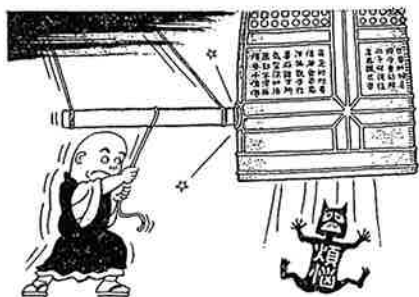
平成29年12月

蓮華寺
發行

御聖訓

日蓮は幼若の者なれども、法華經を弘むれば釈迦仏の御使ぞかし

『種種御振舞御書』



(解説)

日蓮大聖人は「私はこれまで命懸けで法華經を弘めてきたのだから、たとえこの身が若く未熟だとしても、立派なお釈迦様のお使いといえるのです。」と宣言しました。

それは、お釈迦様が法華經に「たとえ一人の人にでも、たとえ一句であろうとも、法華經を説くものは釈尊のお使いである」と説かれているからです。

結果、大聖人はこの法華經の文字こそが、お釈迦様の魂そのものであると確信しました。

いわずと知れた、法華經は諸經の王であり、お釈迦様の真意を説かれたお経であります。

つまり、法華經なくして仏法はあり得ないのです。

ですから、法華經によって、我々の心の中に宿る仏性が現れ、この身がそのまま仏になるのであると大聖人は教えられたのです。

そして、その実践の最良の方法として、我々に法華經・お題目の信唱受持を提唱されたのです。

この教えの元、皆様はお釈迦様のお使いとして、疑いのない素直な心で仏になって欲しいものです。

大黒祭

十二月三日(日)

昼十二時半より

大黒様は、大去垢・大古久とも書かれ、一年の垢(あか)を取り去り、古(いにしえ)よりこの先、久しく我々を守護するという神様です。どうか、平成三十年を迎えるに当たり、家庭の幸福を願ひ、必ずお祀りしていただきます大黒様を行水し、お清め致しましょう。



*法要後に空くじなしの福引きがありますので、ご家族・ご友人をお誘いの上お参り下さい。
 *賞品は、大黒様(一升枺一体・五合枺一体)を初め沢山用意しております。
 *なお、福引き券は、行水申込者・祈願申込者、一件に対して一枚お上げします。
 *大黒様をお祀りしていない方もお参りして、大黒様をお当て下さい。

大黒様の行水のお申込み

- 一、三升枺以上・・・・・・・・三千五百円
 - 一、三升枺以下・・・・・・・・三千円
 - 一、二升枺以下・・・・・・・・二千円
 - 一、一升枺以下・・・・・・・・千円
 - 一、掛軸、額縁・・・・・・・・千円
- ②皆様がご持ちになりました『大黒様』は、僧侶がご祈禱した後、香水(大荒行堂秘伝の水)で清められ更に福引き券が付ききます。
- *祈願・・・千円【福引き・お札付】
 *特別祈願・・・二千円【福引き・木札付】

新規大黒様のお申込み

- *新たに枺入りの大黒様をご希望の方は、事務所前に飾って見本をご覧になりお申込み下さい。
- 一升枺(特上、手彫り)・・・六万円
 - 五合枺(特上、手彫り)・・・五万円
 - 一升枺(機械彫り)・・・三万五千元
- 《いづれも分割可能》
 【開眼料・御幣代も含みます】

お正月のお札と付届の受付

例年の如く、お正月のお札と付届(お灯明料)を十二月より受付致します。
 なお、事務所は十二月三十日までは(午後五時)まで開きますが、三十一日大晦日は元旦の準備の為(午後三時)で閉めさせて戴きます事をご了承下さい。

〈お札の種類〉

- ◎御守護札
 - ◎自動車のお札
 - ◎五段のお守り
 - ◎平成三十年度の曆
 - ◎平成三十年度のカレンダー
 - ◎御幣(白)
 - ◎特殊御幣(三宝荒神、七面様、龍神様など)
- ◎家内安全のお札
 - ◎交通安全のステッカー各種
 - ◎カード型御本尊のお守り
 - ◎大黒様の御幣(三本立)

③この中で特殊な御幣は、お早目にお持ち下さい。
 *なお『元旦祝祷会』の祈願・特別祈願も受付ます。
 この時差し上げます「熊手」「破魔矢」は、ご祈禱済みです。

『御守護』札は

必ず貼付しましょう!

当山で、毎年年末に用意致します『御守護札』は蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。まだ檀家の中でも知らない方がいる為に貼付していない家庭が沢山あります。どうか、今年度より、必ず貼付するようにお願い致します。



(一枚五百円)

また、今年度中にご不幸がありましたご家庭でも、御札・御幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

④檀信徒の皆様で、お引越しまは住所や町名に変更がございましたら、必ずお寺に御連絡戴きますようお願い申し上げます。

蓮華寺事務所 ☎ 776-5840

お知らせ

盛運祈願会 (二月分)

平成二十九年十二月二十九日(金)午後一時より

④平成三十年の一月一日は、『元旦祝祷会』がありますので、月例の『盛運祈願会』は行われません。よって、今年の十二月二十九日に「一月分」のお守りをお渡し致します。しかし、この時には「十二月分」のお守りをお返しにならないで、十二月三十一日の大晦日まで、身体に着けておきますようお願い致します。

元旦祝祷会

平成二十九年十二月三十一日(日)午後十時開門

④『元旦祝祷会』にご参拝の方は、お寺の開門が大晦日の「午後十時」となっていますので、お時間にご注意の上お参り下さい。

④**檀信徒研修会は来年三月までお休みとなります。**

『位牌壇』募集中!

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様のご先祖や仏様が代々に渡り護られています。

★仏様のご命日に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げします。またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

【会費・・・年二、四〇〇円(月二百円)】

『靈断』

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。(一件・三千円)

『元旦祝祷会』法要次第

平成三十年一月二日(月)午前〇時より読経開始

※年の初めのお勤めですので、心を込めて一緒にお経(聖典)とお題目を唱えましょう!

『御祈禱』の時間にご注意の上、ご参拝下さい。

式次第

礼拝文「謹みて礼拝し奉る」
開経偈「無上甚深微妙の法」
御経「方便品第二」

普賢菩薩

勸発品第二十八

懺悔文「夫れ懺悔は治病の」

御妙判「祈禱」

④御祈禱(一回目)《午前〇時半頃》

唱題行「南無妙法蓮華經」

④御祈禱(二回目)《午前一時半頃》

宝塔偈「此経難持」

回向文「導師が唱えます」

四誓願「誓つて南無妙法蓮華」

三整唱「なむめうほうれん」

弾指合掌(祈りを込めます)

【35ページ】

【47ページ】

【67ページ】

【72ページ】

【76ページ】

【77ページ】

『喜寿を祝う会』

去る十一月十八日、部員の『小野豊秀』『吉崎清二』さんの喜寿(七十七歳)を祝う会が【アップルパレス】にて開催されました。

祝賀会はず主催者を代表して、杉淵部長の挨拶と二人の紹介、続きまして当山ご住職、山本基總代のお祝辞、山谷清文さんの乾杯の発声で進行されていきました。

そしてお二人から「この喜寿を励みにしまして、今後強い信仰心を持って、お寺の為に尽くしていきたいと思えます。」との御礼の言葉が述べられました。

その後、歌あり踊りありの余興に、皆時の立つのも忘れて楽しみ、大変有意義な祝賀会となりました。

どうか喜寿の皆さんはこれからも頑張つて下さい。誠にありがとうございました。

『提灯』の募集! (限定一個)

当山で「お正月」「鬼子母神大祭」「御会式」の際に下げます『提灯』(トロー)を募集致します。提灯の作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

お寺からのお礼

「御会式」や「年中行事」の際、御寶前にお供物等を特別奉納された皆様へ、心より御礼申し上げます。

*お米奉納の皆さん

【講中】

油川 講中 浜田信力 講中 三内妙心 講中
駒込 講中 大野妙法 講中 夏井田 講中
八ツ役 講中

【金木】角田 耕二 【小橋】工藤 鐵弘
【入内】大柳 政世 【八幡林】三上 尚之
【夏井田】溝江 悟 【大別内】杉淵 昌三
【三内】吉崎 清三 【中佃】三浦三千男
【新町野】和田 信子
【八ツ役】藤林 昭一・鳴海 孝志・五戸 精氣
【大野】渡辺 司・渡辺 和司・福井 竜一
【長島】奈良 重徳・雪田 喬・雪田 隆之
雪田 隆逸・雪田 葉子
【浜田】三上 信廣・安田 武勝

【本町】角田 祈保・角田 経一
【他有志一同・匿名希望者】

*「御会式」の献花

【盛花】三浦 忠夫（寺院サービス）

*「年中行事」への

献花・お供物等

- ◎ 間法寺（工藤堯幸） ◎ 妙現寺（秋田堯瑛）
- ◎ 要心寺（加藤知宏） ◎ 道円寺（飛鳥玄龍）
- ◎ 無量結社（工藤妙淳） ◎ 小野寺民也
- ◎ 甘精堂 ◎ 成田キヨ子
- ◎ 大黒講中一同 ◎ 采木村青果
- ◎ 齊藤 恵・井下 龍惺 ◎ 采木村青果（順不同・敬称略）



その他、檀信徒の皆様よりの沢山のお神酒・お供物・お燈明料等誠に有り難うございました。

十二月の行事

一 日（金）盛運祈願会

午後一時より

- ・ お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お守りは、お勤めに参拝して戴きましょう。
- ・ 聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。



三 日（日）大黒祭

昼十二時半より

三 日（日）甲子【大黒様の日】

朝のお勤め中

十三日（水）日蓮大聖人のご命日

午後一時より

- ・ お経（如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
- ・ 如来寿量品第十六（真読・漢字読み）
- ・ 大聖人へのご報恩を忘れずに、参拝して下さい。

二十九日（金）盛運祈願会

午後一時より

⑩【平成三十年一月分】

平成三十年

一月一日（月）元旦祝禱会

午前〇時より

☆奉仕のお知らせ

二 日（土）大黒祭の準備

午前十時より

【幕、ノボリの掲揚、祭壇造り】

三 日（日）大黒祭のお手伝い

午前九時より

二十七日（水）元旦祝禱会の準備

午前九時より

【幕、ノボリ、提灯の掲揚】

三十一日【大晦日】（日）元旦祝禱会のお手伝い

午後十時より

（注）新年初めてのお勤めですので、ご参拝を兼ねてご奉仕もお願い致します。

平成三十年

一月三日（水）元旦祝禱会の後片付け 午前十時より

*『大黒祭』と『元旦祝禱会』はお手伝いが沢山必要ですので、一般檀信徒のご奉仕もお願い致します。当日、時間までにご集合下さい。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春
教宣部長・杉淵昌三

元旦祝禱会

平成三十年一月一日 (月)

午前0時より午前二時まで



(年頭記帳・法楽加持祈願・厄除熊手・破魔矢)

◎年頭の行事ですので、必ず参拝し一緒にお経とお題目を唱えましょう。

◎祈願【千円・熊手付】、特別祈願【二千元・破魔矢付】は十二月十日より受付ます。

⑨『午前二時半』には閉門となります。

⑨元旦のお勤めはこの時間帯にしか行いません。